

総合型選抜

総合型選抜は、日本大学理工学部へ入学を希望されるすべての方に開かれている選抜制度です。本選抜の特長は、学力試験だけでは計りきれない受験生の持つ学力の3要素「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を多面的・総合的に評価し、可否を判定することです。将来の夢や希望を持った目的意識の強い方、自ら問題を発見し解決する方法を提案できる方、得られた成果や考えたことをわかりやすく論理的に説明できる方の受験をお待ちしております。総合型選抜を受験される方は、志望学科に出願する前に必ずWebからエントリーを行ってください。出願については、エントリー後、総合型選抜担当者と相談しながら学科への理解を深めた上で、決めることができます。なお、エントリーは複数学科にできますが、出願情報の登録(Web登録)及び出願は1学科のみとなります。試験は、事前課題の成果発表や質疑応答、自己PRなどを行います。また、選考は各学科のアドミッション・ポリシー(入学者受入方針)(2ページ参照)に基づいて行い、時間をかけて様々な角度から評価をします。詳しい内容は募集要項を御確認ください。

出願資格	<p>以下のすべてをともに満たす者</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大学入学資格を有する者 ・各学科ごとに指定された出願要件を満たす者 ・本学部を第一志望とする者
-------------	--

出願要件(詳細については募集要項を参照し、注意事項などを必ず確認してください)
志望学科にエントリーし、以下のすべての要件をともに満たす者

全学科共通要件

志望学科での勉学に強い意欲を持ち、本学部の教育と研究環境を活用して目標を実現する学力の3要素を有する者

学科別要件

- **建築学科**
高等学校等在学中に建築に関する設計競技(日本大学主催の「日本大学全国高等学校・建築設計競技」等)やコンクールに入選した者
【出願時必要書類等】
入選作品等に関する資料(ポートフォリオ等)、入選を証明する賞状等の写し、設計競技等の内容がわかる資料(応募要項、応募点数、審査結果、審査評等)
- **まちづくり工学科**
次のaまたはbのいずれかに該当する者
a 地域社会で積極的に活動している(地元等におけるまちづくり活動、ボランティア活動、被災地支援等)
b まちづくり工学に関する勉強・情報収集・研究活動等に取り組んでいる(新聞記事のスクラップ、街並みのスケッチの蓄積、クラブ活動やサークル活動、興味あるまちへの訪問、まちづくりにかかわる研究等)
- **機械工学科**
数学I、数学II、数学III、数学A、数学Bをすべて履修し、それらの評価の平均が3.6以上、または、物理基礎、物理をすべて履修し、それらの評価の平均が3.5以上
- **精密機械工学科**
以下の科目をすべて履修している者
数学I、数学II、数学A、数学B
- **航空宇宙工学科**
次の①、②をすべて満たす者
① 実用英語技能検定準2級以上(取得年月は問わない)
② 以下の科目をすべて履修している者
数学I、数学II、数学III、数学A、数学B、物理基礎、物理

令和3年度 日程

エントリー期間	7月1日(水)～9月17日(木) 16:00まで 日本大学理工学部総合型選抜Webサイト https://nucst-admission.jp/sougou/
出願情報登録期間	8月21日(金)～9月17日(木) 20:00まで ※ 出願情報の登録前にエントリーが必要です。
出願期間	9月21日(月)～9月25日(金) 場所:理工学部入試事務室(郵送受付)
試験日	11月15日(日) 試験場:駿河台校舎
合格発表	11月18日(水)
手続期間	11月19日(木)～11月26日(木)

- **電気工学科**
次のaまたはbのいずれかを満たす者
a 数学I、数学II、数学A、数学Bのすべてを履修し、それらの評価の平均が3.7以上
b 物理または化学のいずれかの科目の評価の平均が3.7以上
- **電子工学科**
数学を履修している者
- **応用情報工学科**
次のaまたはbのいずれかを満たす者
a 数学I、数学II、数学A、数学Bをすべて履修し、それらの評価の平均が4.0以上
b 物理基礎及び物理の各科目の評価の平均が4.0以上
- **物質応用化学科**
化学基礎または化学の評価の平均が4.0以上の者(ただし、平成26年3月以前に高等学校等を卒業した者については、化学Iまたは化学IIの評価の平均が4.0以上の者)
- **物理学科**
次のaまたはbのいずれかを満たす者
a 数学I、数学II、数学III、数学A、数学Bのうち3科目以上履修し、物理基礎、物理のうち1科目以上を履修している
b 理数数学I、理数数学II、理数物理の全てを履修している
- **数学科**
次のaまたはbのいずれかを満たす者
a 数学I、数学II、数学III、数学A、数学Bのうち3科目以上を履修している
b 理数数学I、理数数学IIを履修している

試験当日までの手順及び試験(詳細については募集要項を参照してください)

学科	試験当日までの手順	試験
▶ 土木工学科	出願後、10月上旬に事前課題を郵送します。この課題に対する報告書(事前課題報告書)を作成して、指定された提出期限までに大学へ返送してください。	① 小論文 ② 面接
▶ 交通システム工学科	出願後、10月上旬に事前課題を郵送します。この課題に対する報告書(事前課題報告書)を作成して、指定された提出期限までに大学へ返送してください。	① 面接(口頭試問を含む) ② プレゼンテーション(課題発表)
▶ 建築学科	出願後、10月上旬に事前課題を郵送します。この課題に対する報告書(事前課題報告書)を作成して、指定された提出期限までに大学へ返送してください。	① スケッチ ② 入選作品等のプレゼンテーション(※)とそれに対する質疑応答 ※プレゼンテーションソフトで作成したファイルまたはプレゼンボードを持参すること ③ 面接
▶ 海洋建築工学科	出願後、10月上旬に事前に実施する課題を郵送します。この課題に対する事前課題報告書を作成して、指定した期限までに提出していただきます。なお、課題を実施するために行った、出願後の大学とのやり取りの全記録を記載した「出願後の記録」を試験当日に提出してください。また、課題のプレゼンテーションに用いる「説明資料」を作成し、試験当日に持参してください。 試験欄に示す<小論文試験を選択できる者の条件>を満たす場合には、「説明資料を用いた課題のプレゼンテーションと口頭試問を含む面接」の代わりに、「小論文試験と面接」を選択することができます。該当する者には「小論文試験と面接」の選択の意思を確認するための書類を上記課題と合わせて郵送しますので、この書類を上記課題の提出期限の1週間前までに提出していただきます。なお「小論文試験と面接」を選択した場合には、「事前課題報告書」及び「出願後の記録」の提出は不要です。	「説明資料を用いた課題のプレゼンテーションと口頭試問を含む面接」、または「小論文試験と面接」 <小論文試験を選択する者> 全体の学習成績の状況が3.6以上であり、かつ、次のaからeまでのいずれかを満たすこと a 数学の学習成績の状況が4.0以上 b 物理、化学、生物、地学いずれかの科目の評価の平均が4.0以上 c 芸術(美術I、美術II、美術III)いずれかの科目の評価が5 d 実用英語技能検定準2級以上、TOEIC®L&Rのスコアが450以上、CEFRランクA2以上【ケンブリッジ英語検定・GTEC(含むCBT)・TEAP(含むCBT)・TOEFL®IBTテスト等]、または、IELTSのスコアが4以上のいずれかに該当(実用英語技能検定は合格証明書、TOEIC®L&Rは公認認定証、CEFRはランクがわかる証明書、IELTSは成績証明書の写しを提出すること) ※外部の英語資格・検定試験の取得年月は問わない e 各種の建築設計競技、デザインコンクール、美術展に出席し、試験当日に当該作品を持参できる。
▶ まちづくり工学科	出願後、10月上旬に「まちづくりに関する事前課題①、②」を郵送します。この事前課題に対する報告書(事前課題報告書 ①、②)を作成して、学科が指定する期限までに提出していただきます。なお、事前課題は①及び②の2つで以下の内容です。 ① まちづくりに関するキーワードに対する説明書作成 ② 地域のまちづくりの諸問題解決への方策提案についてのレポートとプレゼンボードの作成	① 面接 ② 事前課題報告書①(まちづくりに関するキーワードに対する説明書作成)に関する口頭試問 ③ 事前課題報告書②(地域のまちづくりの諸問題解決への方策提案についてのレポートとプレゼンボードの作成)に基づくプレゼンテーションとそれに対する質疑応答
▶ 機械工学科	なし	① 試験(数学I、数学II、数学III、数学A、数学B、物理基礎、物理に関する出題) ② 課題(機械工学に関する課題) ③ 面接
▶ 精密機械工学科	出願後、10月上旬に「事前課題」を郵送します。この課題に対する報告書(事前課題報告書)を作成して、指定した期限までに提出していただきます。	① 事前課題のプレゼンテーション ② 口頭試問(数学・理科に関する基礎的な事項についての質問) ③ 面接
▶ 航空宇宙工学科	出願後、10月上旬に、「事前課題」を郵送します。	① 試験(事前課題に関する出題) ② 面接及び口頭試問(数学、物理(力学)に関する基礎的な質問)
▶ 電気工学科	なし	① 試験(数学I、数学II、数学A、数学B) ② 小論文 ③ 面接
▶ 電子工学科	出願後、10月上旬に「事前課題」を郵送します。この課題に対する報告書(事前課題報告書)を作成して、指定した期限までに提出していただきます。	① 口頭試問(事前課題に関する口頭試問、数学・理科(物理)・英語に関する基礎的な質疑応答) ② 面接
▶ 応用情報工学科	出願後、10月上旬に「事前課題」を郵送します。この課題に対する報告書(事前課題報告書)を作成して、指定した期限までに提出していただきます。	① 口頭試問(事前課題の説明及び英語の基礎的な質疑応答) ② 面接
▶ 物質応用化学科	なし	① 試験(化学基礎及び化学) ② 小論文 ③ 面接
▶ 物理学科	受験生には、大学から送付する数学と理科の課題に解答し、指定の期限までに大学に提出していただきます。提出された報告書(事前課題報告書)に対する質問やコメント(指導)を返送します。それらに対する解答を含めた事前課題のプレゼンテーション資料を作成し、返送された事前課題報告書とともに試験当日に持参していただきます。この課題については、高校での履修の有無にかかわらず、数学は、数学I、数学II、数学III、数学A、数学Bから、理科は、物理基礎、物理の範囲から出題します。課題の発送は10月上旬となります。解答の提出の方法や期限、提出された課題に対する指導の発送日時などの詳細は、課題と共にお知らせします。	① 当日試験(事前課題の内容を含めた数学と理科に関する基礎的な問題。出題範囲は 数学(数学I、数学II、数学III、数学A、数学B)、理科(物理基礎、物理)とする ② 事前課題の内容に関するプレゼンテーションとその内容に関する質疑応答 ③ 面接(上記①の試験の解答に関する口頭試問を含む)
▶ 数学科	受験生には、大学から送付する数学の課題に解答し、指定の期限までに報告書(事前課題報告書)を提出していただきます。この課題については、高校での履修の有無にかかわらず、数学I、数学II、数学III、数学A、数学Bから出題します。課題の発送は10月上旬となります。解答の提出の方法や期限などは課題と共にお知らせします。	① 課題に関連した問題についての記述式試問(出題範囲には数学IIIも含む) ② 面接(上記①の記述式試問の解答に関する口頭試問を含む)